



BaB NEWS

号外 EXTRA

発行所 ● 東海大学学生部
神奈川県平塚市北金目1117 ☎0463-58-1211

発行責任者 ● 学生部長 光澤舜明

Tokai University

●BaB-Newsとは—— 本学学生部が発行している本紙は、今回の9号で3年目を迎え、キャンパス内のさまざまなコミュニケーションをとり込んで、とてもカジュアルに編集しているキャンパスメディアです。

『望星』を掲げつつづけて…… 総長先生、逝去。

—— 総長先生の放った星は、私たちの心の中で永遠に光り輝くことでしょう。

若き日に汝の希望を星につなげ——を自らの人生訓に『望星』と掲げ、我が東海大学を創設、向学に燃える若人にとけむことなくこの精神を説きつつづけて……我が総長は逝った。享年89歳とうかがいますと、1901年のお生まれ。この20世紀をほとんど丸ごと踏破されて来たことになります。ただ長いだけではなくて、その生命と英知と情熱のすべてを『望星』の名のもと、建学のために捧げ、それも普遍的・国際的スタンスで力強く、首をたてて歩んで来たことを思うと……スゴイ！願わくば、21世紀の始まりを見とどけて“望星の星、と輝いていただきましたか”。

君たちが生まれるずっと前、否々、君たちのご両親が生まれるずっと前に……青春時代にあった我が総長は、とあるきっかけで、かの内村鑑三先生との“運命的、な出会いを得、氏の教えを授かる機会に浴したそうです。そこで人類不遍の精神原理である人道主義や平和主義を通して、悟りを開き、「我が人生の目標は教育にあり」と決意されたそうです。この悟りが大学創設につながったことは言うまでもありませんが、この時の“運命的出会い、”がなかったら、私たちの東海大学はなかったかも知れません。

松前総長が逋信省時代(今の郵政省)に現在の電話の礎を築いた、長距離搬送通信システムである「無装荷ケーブル」を発明され、その功績はノーベル賞クラスと称えられた話は有名ですが……こんな話も聞きました—— 戦後間もない、まだGHQなるものが、日本で睨みをきかしていた頃の、君たちの歴史の教科書には載らなかった“事実、”だけど……「松前内閣」が誕生する動きがあったんだって……結局は実現しなかったけど、ひょっとしたら、あの吉田首相による、歴史的なサンフランシスコ講和会議(対日講和条約)、我が「松前首相」の名でやっていた可能性もあったかも知れないのです。もしそうだったら、歴史もだいぶ変わっていたと思います。

明治・大正・昭和・平成と4代にもわたって、時代の先頭になってきた松前重義——あの大きな身体で獅子奮迅に活躍し、その激動の20世紀を波瀾万丈にカツ歩いて来た軌跡は、私たち東海大生ならずとも「巨人」と敬って止まないでしょう。
「望星」を唱え、建学の精神に燃えて育まれて来た、我が東海大学はあと一年で創立50周年を迎えます。そして、半世紀もの長きにわたって手塩にかけて来られた「望星」の訓えは、来る21世紀において、さらに大きな星となって輝くことでしょう……。
—— ご冥福をお祈り申し上げます。

皆んなでお見送りしよう！●『東海大学学園葬』は、9月25日(水)午後2時より、湘南校舎・総合体育館において行われます。